平成29年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 第2回AD合同会議「事前課題」シート

平成29年度精神障害にも対応した 地域包括ケアシステム構築支援事業

第2回 AD合同会議(H29.10.6)

資料4

## 石川県石川中央圏域

## 顔の見える関係づくりと退院支援の強化

石川中央圏域では精神障害者の在宅での生活を支援するため、各地域ごとの精神科病院と訪問看護、介護・福祉サービス事業所等との連携体制を構築し、入院初期から退院に向けた調整や退院後の訪問支援の強化に取り組んでいます。

## 1 石川中央圏域の基礎情報

#### 基本情報

市町村数(H28年6月末)金沢市含む			6市町村	
人口 (H28年6月末)	728,986人			
精神科病院の数 (H28年6月末)	1 4 病院			
精神科病床数(H28年6月末)	2,914床			
	3か月未満:415人(21.2%)			
入院精神障害者数	3か月以上1年未満:342人(17.5%)			
(H28年6月末)	1年以上:1,196人(61.2%)			
(120+0/1//)			55歳未満:431人	
			55歳以上:765人	
退院率(H28年6月末)	入院後3か月時点:61.7%			
	入院後6か月時点:82.7%			
	入院後1年時点:91.1%			
	基幹相談支援センター:〇			
相談支援事業所数(H29年2月末)	一般相談事業所数:36			
			は相談事業所数:62	
障害福祉サービスの利用状況	地域移行支援サービス:1人			
(H29年2月)	地域定着支援サービス:3人			
(自立支援)協議会の開催頻度(H 年)			回/年	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け	障害保健福祉圏均	刻 有	1力所	
た保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	市町村	す 有	4力所	
※H29年2月時点				

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要(全体)

## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

## 精神科医療機関

市町村

保健・医療・福祉の

一体的取組

地域援助事業者 (指定一般・特定 相談支援事業者)

## 事業内容

- (1)地域体制コーディネーターの配置 長期入院者に地域移行の働き かけや 支援者の助言を行う
- (2)地域生活支援連携会議 関係機関の連携強化、支援体 制の検討等
- (3)ピアサポートの養成、配置

## 保健所

### バックアップ

国(アドバイザー組織)

広域アドバイザー

都道府県等密着アドバイザー

精神障害者にも対応した地域包括ケア システムの構築事業

#### アドバイザー役割

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にかかる事業に実施に取り組む地域に対し、担当者と連携し、関係者等の研修及び個別相談等の技術的支援を行う。

- ①広域アドバイザー
  - 国が選任
  - ・県担当者、県密着アドバイザーに具体的にアド バイス
- ②都道府県密着アドバイザー
  - ・県の推薦を受け、国が選任
  - 行政、医療、福祉分野から1名程度
  - 実践するなかで抱える課題等に対する相談、支援を行う

## 3 評価指標の設定状況

## 【〇〇県全体】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32

## 【〇〇圏域】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32

## 【設定理由(根拠)】

•

## 4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

- H29.8.9 県密着アドバイザーとの連絡会を開催。
- •H29.8.31 所内で、連絡会の内容や参集者について打ち合わせを実施。

(H29.10.19に以下の内容で連絡会を開催予定。)

担当:石川中央圏域の県密着アドバイザー

主:川本 晶広(こころの健康センター)

副:岩尾 貴 (社会福祉法人朋友会)

## 対象者:

管内精神科医療機関担当者、管内相談支援事業所相談支援専門員、 管内市町障害福祉担当者、松原病院、岡部病院、相談支援事業所ピ アサポートいしびき、相談支援事業所あるふぁ、金沢保護観察所、金沢市 内容

## (1)講義

石川県における精神障害者の地域移行支援の状況 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について

(2)意見交換

各機関における地域移行支援の現状と課題、今後の取り組みについて等

(3)その他連絡事項

## 5 現時点での課題・悩み

- ・当保健所は中核市である金沢市の北と南の地域を管轄している。障害福祉圏域は「当保健所管内+金沢市」となるため、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けては、金沢市とも連携しながら事業を進めていくことが必要となる。・H29年2月に当保健所管内で連絡会を開催した際、社会資源の不足、相談員の人員不足、地域と医療機関の連携不足、居住の場の確保、患者本人の動機づけ、病院職員の知識が少ない、等の課題が挙げられたが、課題出しで終わってしまったため、今年度は課題に対する解決策、各機関ができることについて検討したいと考えている。
- •ピアサポーターを養成しているが、活動実績が少ない。医療機関等に向けてどのようなPRが効果的か、知りたい。

6

# 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成29年度の取組スケジュール

## 平成29年度の目標

- 1. 多機関との連携強化を図る
- 2. ピアサポート事業の強化

時期(月)	実施内容	担当
H29年7月24日	地域生活支援事業担当者連絡会開催 ・地域包括ケアシステムの構築支援事業等(国の動向)について説明 ・圏域ごとの地域生活支援事業について説明	県障害保健福祉課
H29年8月9日	県密着アドバイザーとの連絡会	県障害保健福祉課
H29年8月31日	打ち合わせ	石川中央保健所
H29年10月19日	講義•意見交換	石川中央保健所
H30年2月	地域連携会議を開催し、これまでの取り組みを整理し課題 を共有。	石川中央保健所